

広島県女性総合センター（エソール広島）の立地について

1 要旨・目的

広島県女性総合センター（エソール広島）について、未利用となる見込みの近隣の県有施設である県民文化センター5階・6階を移転候補地として、具体的な移転の検討を進める。

2 現状・背景

エソール広島は、富士見町地区の高次都市機能の充実・強化に向けた県有地活用のため、平成30年度においてタワーに移転した。移転先については、関係団体の要望等を踏まえ、集いやすい立地や研修・相談等の機能の確保等を総合的に勘案し、当時入居可能性のあった物件の中からおりづるタワー10階を選定した。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 検討内容

ア 移転先として検討する県有施設

県民文化センター内5階・6階「サテライトキャンパスひろしま」

イ 関係者の意向等

(ア) 広島県公立大学法人の意向

「サテライトキャンパスひろしま」は、大学連携を積極的に推進する目的で、平成25年度から広島県公立大学法人に無償貸付（無償貸付議決）しているが、コロナ禍を経て、オンライン授業の浸透等により、近年利用者数が伸び悩んでいるため、同法人からの申し出により、県及び同法人で返還に向けた協議を進めている。

(イ) エソール広島及び関係2団体の意見

エソール広島を管理運営する（公財）広島県男女共同参画財団及び財団に出資している2団体（※）に、県民文化センターへの移転について意見を伺ったところ、引き続き、交通の利便性の良い立地であることに加え、関係団体との交流イベントの実施により活動の活発化を期待できることなどから前向きな意見であった。

※ 広島県の男女共同参画をすすめる会、広島県地域女性団体連絡協議会

(3) スケジュール

関係者との調整・検討を踏まえて決定

(4) 予算（国庫・単県）

—

(5) 今後の対応

（公財）広島県男女共同参画財団及び財団に出資している2団体は、移転に前向きであるとともに、県としても、未利用となる見込みの県有施設の有効利用やエソール広島の維持管理費の縮減を図ることができる。

このため、県民文化センターに円滑に移転できるよう、今後、速やかに関係者と調整・検討を進め、具体的なスケジュールや事業費を精査した上で、方針を決定し、スケジュールの公表、必要な予算確保を行う。

4 その他（関連情報等）

「おりづるタワー」と「サテライトキャンパスひろしま」の比較

区分	おりづるタワー	サテライトキャンパスひろしま
貸借期間	平成30年2月1日～令和10年3月31日 (令和5年4月に5年更新)	平成25年4月1日～令和10年3月31日 (令和5年4月に5年更新)
賃貸人	おりづるタワー(株) (R6.10(株)広島マツダから事業承継)	県
床面積	<u>707.31 m²</u> ※ 廊下部分を含む	<u>917 m²</u> ※ 廊下等共用部分を除く ・5階 698 m ² 、6階(一部) 219 m ²
研修室、 講義室、 会議室等	<u>2～3室、定員（計）105人</u> ・研修室(90人、2室に分割可) 1室 ・交流スペース(15人) 1室	<u>4～5室、定員（計）300人</u> ・大講義室(200人、2室に分割可) 1室 ・中講義室(50人) 2室 ・会議室 1室